

令和 7 年度第 3 回三重県教育改革推進会議
県立高等学校の在り方調査研究部会
議事概要

1 日 時 令和 7 年 11 月 5 日（水）10 時 00 分から 12 時 00 分まで

2 場 所 三重県教育文化会館 第 2 会議室

3 出席者

三重県教育改革推進会議県立高等学校の在り方調査研究部会委員 6 名

松 浦 直 己 部会長	井 上 珠 美 委 員
加 藤 崇 英 委 員	川 北 睦 子 委 員
黒 田 喜 昭 委 員	田 中 望 委 員

（欠席：立花美緒委員、田村知子委員、平山大輔委員、廣瀬琢也委員）

（事務局）

大屋副教育長、

一尾教育政策課長、佐川学校経理・施設課長、山北高校教育課長 ほか

4 配付資料

資料 1 三重県教育改革推進会議県立高等学校の在り方調査研究部会委員名簿

資料 2 県立高等学校の在り方調査研究部会 中間報告

資料 3 令和 7 年度第 1 回三重県教育改革推進会議における協議の概要

資料 4 事務局説明資料

資料 5 答申（部会長案）

資料 5（別紙） 答申（部会長案・概要）

5 調査研究（次期県立高等学校活性化計画の策定に係る県立高等学校の学び並びに規模及び配置の在り方について）

一尾教育政策課長から、資料 3 及び資料 4 について説明。

続いて、松浦部会長から、資料 5 について説明。

出席委員からの主な意見は次のとおり。

(黒田委員)

- 答申は公的な意味合いを強く持つため、県民が見て理解できる資料となるよう、現状の学校配置など、議論の前提が分かる資料を添付することが望ましい。
- 概要にある「専門学科に通う生徒が多い」といった表現は、絶対数が多いとの誤解を招くおそれがある。「全国と比べて割合が高い」のように、正確な表現に修正すべきである。

(井上委員)

- 通学条件について、勤務している高校の実態では8割の生徒が60分以内だが、90分以上かけて通学し、部活動と学習とを両立させている生徒もいる。目標として「できれば60分以内」と示すことは重要だが、この表現に縛られすぎると、かえって「小規模校が必要」という議論になることが懸念される。「著しく困難」という表現も、立場によって受け取り方が異なるため、見直したほうがよいのではないか。

(田中委員)

- 保護者の立場からすると、子どもが早朝から長時間掛けて通学し、部活動を終えて疲弊した状態で帰宅する姿を見ると、睡眠時間などが心配になる。選べるのであれば学校は近いほうが良いと思う。

(川北委員)

- 企業のブランディングと同様、学校もスクールブランディングが極めて重要である。「三重県の県立高校はこうだね」とロコミで広がるような、魅力的なキャッチコピーを掲げ、メディアが注目するような計画を練るべきではないか。

(加藤委員)

- 答申案は全体的に淡々とした印象を受ける。子どもたちが未来に羽ばたけるような、もっと積極的で明るいメッセージを込めるべきではないか。
- 小規模校について「やむを得ず配置する」といった消極的な表現は、そこで学ぶ子どもたちの気持ちを考えると使うべきではない。「総合的に判断して配置する」など、前向きな言葉を選ぶべきではないか。

(井上委員)

- 学びのスタイルが合わず、全日制課程から通信制課程への転学を希望する生徒もいる。そのことを踏まえると、退学することなく、同じ学校内で課程間を柔軟に行き来できる制度を導入することは、非常に明るい展望がある。

(黒田委員)

- 中学校の立場からしても、高校の選択肢が多いことはありがたい。
- 中学生にとって、専門学科はイメージが湧きにくい。普通科の中で専門的な学びを段階的に学べるコースのニーズもあるのではないか。
- 答申には、山間地域など通学が困難な生徒への費用面の配慮も明記してほしい。

(井上委員)

- 教員配置や多様な選択肢の確保という点から、1 学年 4 学級以上の規模は必要だと考える。

(川北委員)

- 部活動の魅力は顧問の指導力によるところが大きく、学校の規模と直結するわけではないのではないか。

(加藤委員)

- 部活動になじめない生徒もいる中、学校規模の根拠として部活動を強調することには違和感がある。
- 小規模校でも部活動の機会を保障する方法を検討するなど、「大きな学校に行かなければ部活動ができない」というメッセージにならないよう注意する必要がある。

(井上委員)

- 答申案の「大学進学ニーズに応える学校は、少なくとも 1 学年 6 学級」という表現は普通科単独校のように読めるが、必ずしも普通科単独校に限らないのではないか。

(川北委員)

- 統廃合を進めるのであれば、各校の特色を分かりやすく伝えるブランディングが不可欠である。小規模校でも特色ある学校になれるという明るいメッセージを込めるべきではないか。

(了)